

深澤精神 発信続けて70号

深澤晟雄の会ニュースは平成19(2007)年10月5日創刊以来6年、今号で第70号を数えました。

ニュース創刊号では、旧看護婦宿舎を資料館にと町当局に要望書を提出したこと。資料収集に町民の協力を呼びかける等町民とともに資料館づくりを進める中心にニュースの発行がありました。また、創刊号2面では同年9月19日NHKテレビ放映の「その時歴史が動いた」の全国的な大反

響を特集しています。その後も「深澤語録」を連載、深澤生命行政とその理念を発信し続けました。さらに、資料館入館者の感想を紙面で交流、入館者の声そのまま深澤精神の発信源ともなりました。

バックナンバーは ホームページから

ニュースのバックナンバーが欲しいという声もあります。深澤晟雄の会の左は平成19年10月5日発行の創刊号1面

深澤晟雄の会ニュース

第 1 号
特定非営利活動法人 深澤 晟雄 の 会
(2007 年 10 月 5 日発行)

旧看護婦宿舎を資料館に 町長と議長に要望書



高橋町長に要望書を手渡す太田理事長(蒲田庁舎の町長室)

深澤晟雄の会では、市内病院の旧看護婦宿舎を深澤晟雄資料館として活用してほしいと、9月5日高橋町長と佐々木議長に要望書を出しました。旧看護婦宿舎は吉田の健康モザイク住宅として、昭和38年に建設、深澤晟雄の胸像と全国運動で建立された

資料収集にご協力を 思い出話や手記も

深澤晟雄の会では、旧看護婦宿舎を資料館として活用していただくために、資料収集にご協力をお願いしています。思い出話や手記も歓迎です。お問い合わせは、事務局までお願いします。

会員77人 寄付金124万円

法人登記終了活動本格化
8月28日にDPO法に
登録された深澤晟雄の会
法人登記など関係官庁への
手続きも終了、本格的な活
動に入っています。
会の趣旨に賛同し大会
された正会員は77人、うち
町外4人、賛同職員1人、
5人となり、大きな広がり
を見せています。
また、本会の活動資金に
役立てて欲しいと寄付金を
いただいております。

資料館の 感想ノートから



9月28日来館の八幡平市・藤嶋三姉妹

ホームページで「ニュース」ただけです。また、町外の賛助会員にクリックすると創刊号からのバックナンバーが閲覧できます。ホームページには編集原版を載せているので、写真はカラーでご覧いただけます。ご希望者は資料館にメールでお申込み下さい。

今日を忘れず
福祉に生かす
高校生の時、図書室で深澤村長の小説をたまたま読んで沢内村のことを知りました。これから岩手で福祉
に関わっていくので、今日見たこと、感じたことを忘れずにいたいのです。今日来て良かったです。ありがとうございます。 (八幡平市・藤嶋瑞穂様 写真中央)

金一封 に感謝

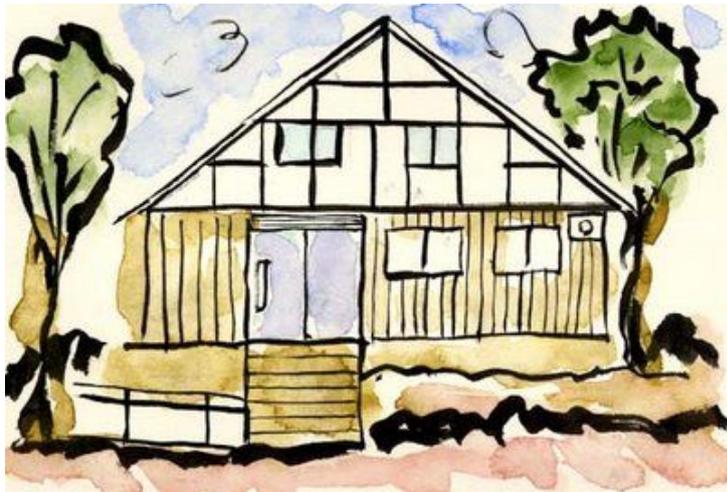
福島県郡山市 鈴木 元 様
埼玉県さいたま市 高田 健 様

徳島県から来訪 5年前の記録

西和賀町観光協会「あったか日記」

2008年11月24日

徳島の女性が涙した理由



西和賀観光協会のブログ「あったか日記」に深澤晟雄資料館が登場したのは、今から5年前でした。当時はカラーの挿し絵も添えられて、文字通り見る人の心を温かく誘っていました。資料館のオープンには平成20年10月19日。その1カ月後に「徳島の女性が涙した理由」と題して資料館が紹介されました。当時のブログをそのまま掲載し、ブログ担当者と思いを重ねてその日の資料館日誌も開いてみました。

本日、午前観光案内所を訪れた女性は、遠慮がちに尋ねました。「深澤晟雄資料館はどこですか」ということでした。「沢内病院の向かい側に建っていますよ」と説明すると、その女性は目を赤くしました。「どちらからですか」と聞いてみると「徳島県から来ました」といって大粒の涙を流しました。何か悪いことを聞いてしまったような感じがしました。その女性はNHKで放送されたことに、たいへん感銘を受け、この町に来てみることにしたそうです。その願いがようやく叶って思わず涙があふれ出たのでしょうか。私も目頭が熱くなりました。そして、その女性はハンカチで顔を覆い、何回も会釈して出ていきました。あの女性は資料館に入り、NHKの録画を觀賞して泣き崩れたに違いありません。遠くからお越しいただきありがたいことです。

資料館日誌から

当時の資料館日誌にも11月24日に徳島から来館した記録が次のように記されています。

徳島ナンバーの車で夫婦2人連れに来館。千円を募金。ビデオ「いのち燃え尽きるとも」を鑑賞して帰る。54分の長編ビデオを最後までじっくりと鑑賞する姿に感動！

当時は入館料なしで法人役員で開館していました。資料館オープン1カ月後に徳島県から車で来訪し、資料館でたっぷり時間をとって、募金までしてくれました。資料館オープンを祝い、激励してくれたものと今でも感謝の気持ちで思い出します。

ブログでいうNHKのビデオ「その時歴史が動いた」はすでに観ているので、当日希望したのは「いのち燃え尽きるとも」のIBCテレビ制作のドラマ・深澤村長物語です。主役の深澤夫妻はプロですが、その他は一般村民が沢内言葉で出演。それだけに迫力があつたようです。